

みずほCustomer Desk Report 2023/06/16号 (As of 2023/06/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.40
TKY 9:00AM	139.96	1.0843	151.78	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	141.50	1.0952	153.68	1.2665	0.6798
SYD-NY Low	139.95	1.0804	151.69	1.2789	0.6893
NY 5:00 PM	140.30	1.0946	153.60	1.2632	0.6769
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,408.06	428.73	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	13,782.82	156.34	日本10年債	0.4200%	▲0.0100%
S&P	4,425.84	53.25	米国2年債	4.6482%	▲0.0451%
日経平均	33,485.49	▲16.93	米国5年債	3.9125%	▲0.0802%
TOPIX	2,293.97	▲0.56	米国10年債	3.7185%	▲0.0706%
ソコ日経先物	33,545.00	▲30.00	独10年債	2.4970%	0.0560%
ロンドンFT	7,628.26	25.52	英10年債	4.3745%	▲0.0135%
DAX	16,290.12	▲20.67	豪10年債	4.0330%	0.0480%
ハンセン指数	19,828.92	420.50	USDJPY 1M Vol	9.37%	0.44%
上海総合	3,252.98	23.99	USDJPY 3M Vol	9.26%	0.30%
NY金	1,970.70	1.80	USDJPY 6M Vol	9.40%	0.18%
WTI	70.62	2.35	USDJPY 1M 25RR	▲0.81%	Yen Call Over
CRB指数	266.91	6.65	EURJPY 3M Vol	8.75%	0.26%
ドルインデックス	102.12	▲0.83	EURJPY 6M Vol	9.08%	0.15%

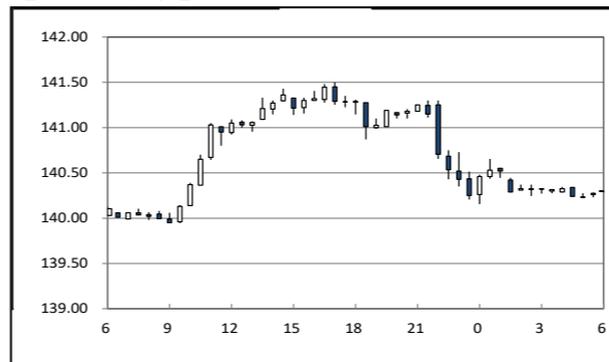
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月15日	08:50	日 貿易収支	5月 -¥1372.5b	-¥1286.8b
	10:30	豪 雇用者数変化	5月 75.9k	17.5k
	10:30	豪 失業率	5月 3.6%	3.7%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	5月 3.5%	3.5%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	5月 12.7%	13.7%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	15-Jun 4.0%	4.0%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	5月 0.3%	-0.2%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	5月 0.1%	0.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	10-Jun 262k	245k
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 6.6	-15.1
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	6月 -13.7	-14.0
	21:45	欧 ラガルドECB総裁 会見	「7月追加利上げの公算が大きい」	
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 -0.2%	0.1%

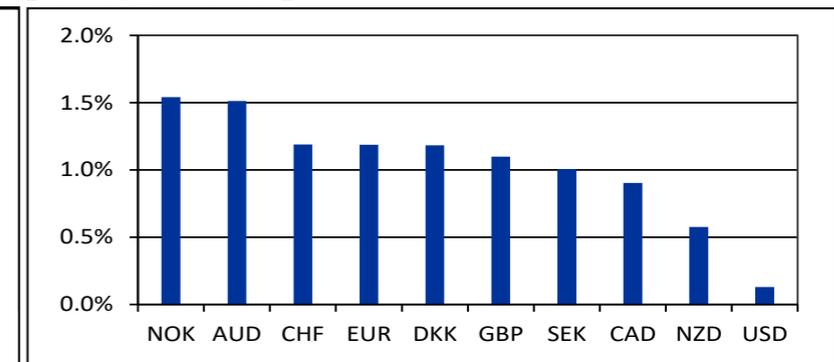
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月16日	-	日 日銀金融政策決定会合	-	-
	16:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	5月 6.1%/0.0%	6.1%/0.0%
	22:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 60.0	59.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.50-141.50	1.0900-1.1080	152.50-154.50

【マーケットインプレッション】

昨日は円売りが加速し、ドル/円は141.50と年初来高値を付け、ユーロ/円は153.68と2008年以來の水準まで大きく上昇した。前日のFOMCで米国が金融政策引き締めスタンスを維持することが確認され、さらにECBでの利上げ期待感からUSDとEURが買われた。株式市場も堅調推移したことでクロス/円全般に買いが入ったことも円売りの要因となった。注目のECB理事会では政策金利を市場予想通り25bp引き上げ、リファイナンス金利を4.00%に、中銀預金金利を3.50%に引き上げた。これを受け預金金利は22年ぶりの高水準となった。ラガルドECB総裁その後の会見で金融引き締めスタンスを維持する見通しを示した。本日は日銀が金融政策決定会合を開催するが、市場予想は金融緩和の継続となっている。予想通りの結果となると、他主要国との金融政策の違いから円売りの流れは継続し、ドル/円、ユーロ/円も高値圏での推移となろう。

東京	東京時間のドル円は139.96レベルでオープン。前日のFOMCでの効派スタンスや実需の買いフローも相まって上昇基調。政府関係者の牽制発言も意に介さず、一部明日のBOJの現状維持を見込んだ動きもあってか断続的に円が売られる中、直近高値を抜けても上昇を続け、一時141.43をつける。終盤も高値圏での推移が続き、141.30レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.30レベルでオープン。米金利低下を背景に140.87まで売られるも底堅く推移し、結局141.25レベルでNYに渡った。ユーロ円は、1.0813レベルでオープン。午後にはECB政策決定会合を控え、1.0848まで堅調に推移し、結局1.0818レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は日銀金融政策決定会合の結果発表を明日に控え、現行の金融緩和政策が維持されるとの思惑から、前日のFOMCにて米国年内の利上げ観測が強まった事を受け、金利差拡大期待から円売りが優勢となり、141円台に乗せ、その後141.25レベルでNYオープン。朝方に発表された米5月小売売上高(前月比)は予想を上回るも、米新規失業保険申請件数と米失業保険継続受給者数が共に予想より悪化し、ドル売りで反応。続いて発表された米5月鉱工業生産も予想を下回り、140.16まで値を下げる。午後は米金利が低水準で推移する展開が上値を抑え、140.20付近での上値重い展開が続き、140.30レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ円は1.08台前半でスタート。ECB主要政策金利発表を控え、1.08台前半を中心とした推移が続き、1.0818レベルでNYオープン。オープン直後に発表されたECB主要政策金利では25bpの利上げが発表され、ユーロ買いが先行するも、米国も利上げ期待が強まっている事から、欧米金利差縮小の幅が限定的な事を意識してか、上げ幅は限定的。しかし、その後に発表された弱い米経済指標の内容と、同時に行われたラガルドECB総裁の記者会見で「われわれは(利上げの)一時停止は検討していない」、「まだやるべきことはある」等の発言から、買いが強まり、1.09台半ばまで続伸する。午後は高値圏での推移が続き、高値の1.0952を付け、その後1.0946レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・松木